

令和5年度本試験の得点から考えるTACの講座選択

例年ですと、300点満点中、全体で5割程度・140～150点以上得点できているかどうか、受験経験者クラスか、基礎クラスかの選択の目安となります。

ただし、令和5年度は、記述式問題が比較的簡単だったので、記述式を除きます。一般知識は水モノですから、あまり参考になりません。

そこで、コース選択の場合には、記述式と一般知識を除いて、下記、法令択一（160点満点中80点以上）と法令多肢（24点満点12点以上）の合計点で5割程度（90点ぐらい）を超えているかどうかを一つの基準として、ご検討いただければと存じます。

【法令択一＋法令多肢 マークシート問題による目安】		
法令択一 40問	(160点)	
法令多肢 12空欄	(24点)	合計184点満点中
20問以上＋6空欄以上 ＝およそ92点以上	答練本科生 S（上級講義付き） 答練本科生 A（答練のみ）	
20問未満＋6空欄未満 ＝およそ92点未満	プレミアム本科生	

※なお、法令記述式（本試験の問題番号44、45、46）だけでいえば、今年は簡単だったこともありますので、一概に、「記述式で得点できているから受験経験者」、「記述式で得点できていないから基礎クラス」ということにはなりません。一つの目安として6割36点以上の得点ができているかたは受験経験者クラスがおすすめです。それ未満ならプレミアム本科生がおすすめ。

【参考・法令記述問題による目安】		
法令記述 3問	(60点)	
各問題 10点以上 ＝3問の合計36点以上	答練本科生 S（上級講義付き） 答練本科生 A（答練のみ）	
各問題 10点未満 ＝3問合計36点未満	プレミアム本科生	

以上